



キット 取扱説明書

商品番号：01-03-7005

シリンダーヘッド適応車

モンキー/ゴリラ : Z50J—2000001~2499999
AB27—1000001~1809999

モンキーBAJA : Z50J—1700001~

ダックス50 : AB26—1000001~

マグナ50 : AC13—1000010~

XR50R : AE03—1000001~

CRF50F : AE03—1400001~

- ・このたびは、弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～ 特 徴 ～

- バルブ挟み角を変更し、燃焼室形状の変更から、燃焼効率を向上させました。
- インテークバルブ外径を26mmに、エキゾーストバルブ外径を22.5mmに拡大し、ポート形状の大幅な変更により吸排気効率を高めました。
- ステム径をIN/EX共に4.5mmにし、バルブスプリングをシングルに、バルブの追従性を高めました。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

このキットの取り付けにはエンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要になります。上記適合車のホンダ純正サービスマニュアルを準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

シリンダーヘッドにシリアルNo.を刻印しています。部品注文時にシリアルNo.が必要になる場合があります。

ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

液体パッキン等は使用しないで下さい。オイル通路を塞ぐ可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。また、燃料タンクのガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合はハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグは焼け具合により熱価を設定して下さい。尚、抵抗入りスパークプラグの場合は必ず抵抗入りの物をご使用下さい。

点火系は弊社製もしくはノーマルのみ適合とします。他社製品との組み合わせのデータはありません。また、トラブルの原因にもなりますので絶対行わないで下さい。

ノーマルクラッチは使用不可の為、遠心フィルターがなくなります。外部のオイルフィルターを装着して下さい。

必要に応じてオイルクーラーを装着して下さい。

エンジンオイルはAPI SF級以上で、SAE 10W-40/15W-50程度の物をご使用下さい。

エンジン回転計を取り付け、必ず限界回転数以下でご使用下さい。

スプロケットは出力、仕様に応じた物に変更して下さい。

このキットは単独で使用出来ません。「弊社推奨エンジンパーツ」を参照して下さい。

このキットは弊社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは弊社推奨エンジンパーツに交換して下さい。

このパーツはクロード競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず原付2種の登録を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。

(原付登録のまま公道を走行したり、道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

急発進・急加速

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。



注意

この表示の内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・このパーツはクロード競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず原付2種の登録を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。
- ・(原付登録のまま公道を走行したり、道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。35℃以下。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、十分注意して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。(部品の摩耗や損傷等で、エンジントラブルの原因となります。)



警告

この表示の内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識の無い方は、作業を行わないで下さい。(技術、知識不足による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。(火災の原因となる恐れがあります。)
- ・規定トルクは必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。)
- ・指示部品以外の部品の使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け、損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前は必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで増し締めを行って下さい。(部品脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。(ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。)

●走行前の注意

使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

このキットを取り付けると遠心フィルターがなくなります。外部オイルフィルター付の乾式クラッチ又はスペシャルクラッチを装着して下さい。スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

**このキット単体では使用することは出来ません。
専用のボアアップキットを別紙を参考にご購入下さい。
(フルキット購入時除く)**

●その他

オイルクーラー

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量が増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお薦めします。

●カムシャフトについて

シリンダーヘッドキット単品にてご購入された場合は、別途カムシャフトが必要です。カムシャフトは用途や排気量によって数種類のプロファイルを用意しております。又、フルキットにて購入され同梱されているカムシャフト以外に、オプション品として検討して頂けます。

別紙を参照して下さい。

●使用回転数

使用限界回転数は使用されるカムシャフト等で異なります。P3のカムシャフト比較グラフを参考にして、エンジン回転計を取り付け、必ず最大出力回転数以下でご使用下さい。

特に、空ぶかし時や1速ギア、2速ギアでの急加速時は使用限界回転数に入りやすいのでご注意下さい。使用限界回転数以上でご使用されますと、エンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

●シリンダーヘッドには、管理NoとしてヘッドNo(シリアル)を打刻しております。

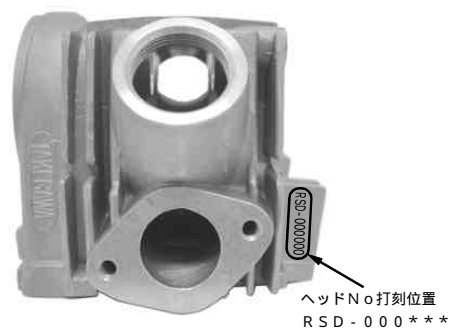
リペアパーツ発注時、このヘッドNoが必要となる場合があります。リペア品番がわからない等で、リペアパーツが発注出来ない時は、下記の例を参考に発注して下さい。

シリンダーヘッド左側面に打刻してあるNoをひかえる。

ヘッドNo - RSD - 000001

発注例→シリンダーヘッドキット、リペア

ヘッドNo - RSD - 000001 → インテークバルブ
数量1本



●シリンダーヘッド単品で購入された場合は、排気量等、組み合わせを選んで組み付けて頂けるセットを用意しております。別紙「ボアアップキット参照表」を参考にキット内容をご検討下さい。

不明な点やキットの細かい内容はお買い上げ頂いた販売店、又は、弊社までお問い合わせ下さい。

●弊社推奨エンジンパーツ

このキットは弊社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは弊社推奨エンジンパーツに交換して下さい。

推奨パーツ			
クラッチ	スペシャルクラッチキット	モンキー／ゴリラ	
	乾式クラッチキット	モンキー／ゴリラ	
点火系	ノーマルC.D.I		
	ハイパーC.D.I	モンキー／ゴリラ	07-02-15
	C.D.Iマグネット	モンキー／ゴリラ、モンキー-R	05-02-051
キャブレター	京浜PC20	モンキー／ゴリラ	88-106cc
	京浜PD22	モンキー／ゴリラ、モンキー-R、マグナ50、ダックス50、CRF50F	88-106cc
	京浜PE24	モンキー／ゴリラ、CRF50F	88-106cc
	三国VM26	モンキー／ゴリラ、モンキー-R、マグナ50、ダックス50、CRF50F	88-106cc
オイルポンプ	スーパーオイルポンプキット	01-16-0051	
カムチェーン	強化カムチェーンキット	88cc	01-14-002
		106cc	
オイルキャッチタンク (ヘッドブリーザーキャップ使用時)	モンキー／ゴリラのみ	09-04-031	
		09-04-032	

●オプションカムシャフトについて

- 本キットに使用出来るカムシャフトを数種類ご用意しております。
各排気量で用途に合ったカムシャフトを右表を参考に選択し、ご使用をお楽しみ下さい。

N-1スポーツカムシャフト	01-08-033	88/106ccボアアップ同梱
R-10オートデコンブカムシャフト	01-08-0124	オプション品
R-15オートデコンブカムシャフト	01-08-0125	オプション品
R-20オートデコンブカムシャフト	01-08-0126	オプション品

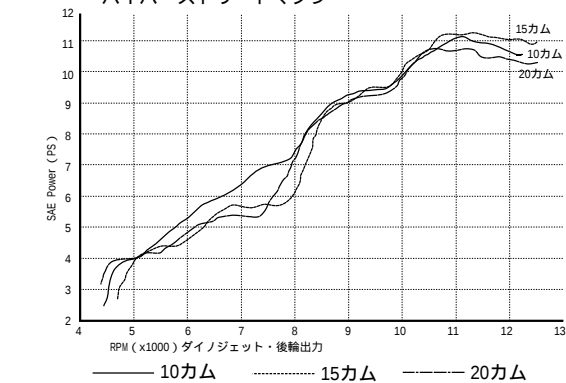
○カムシャフトの名称について

○○／○○の数字が大きいカムシャフトほど作用角が広く、高回転域で高い出力を発揮し、低中速回転域で出力が抑えられます。
逆に数字が小さいカムシャフトほど作用角が狭く、高回転域での出力が抑えられ、低中速回転域で高い出力を発揮するように、出力特性が移行します。
弊社では排気量別に適正なカムシャフトを付属させていますが、オプションカムシャフトを購入される際は、カムシャフトデータ表を参考にし、使用目的に見合ったカムシャフトを選択して下さい。
また、エンジン出力は、使用するマフラー、インレットパイプ長、キャブレター径、圧縮比、点火装置、点火時期、オクタン価などや、気温、気圧といった自然現象により、大きく変わりますのでご注意ください。
又、ノーマル及びN-1スポーツカムシャフトとオプション品のR-10／R-15／R-20は、カムシャフトのベース内径が異なります。オプションR-10／R-15／R-20のカムシャフトを使用の場合は、必ずカムシャフトキット同梱のロッカーアームをご使用下さい。
(N-1スポーツカムシャフトは、ノーマルロッカーアーム、R-10／R-15／R-20カムシャフトはカムシャフトキット同梱のロッカーアームでご使用下さい。カムシャフトとロッカーアームの組み合わせを間違えると、エンジンが破損します。)

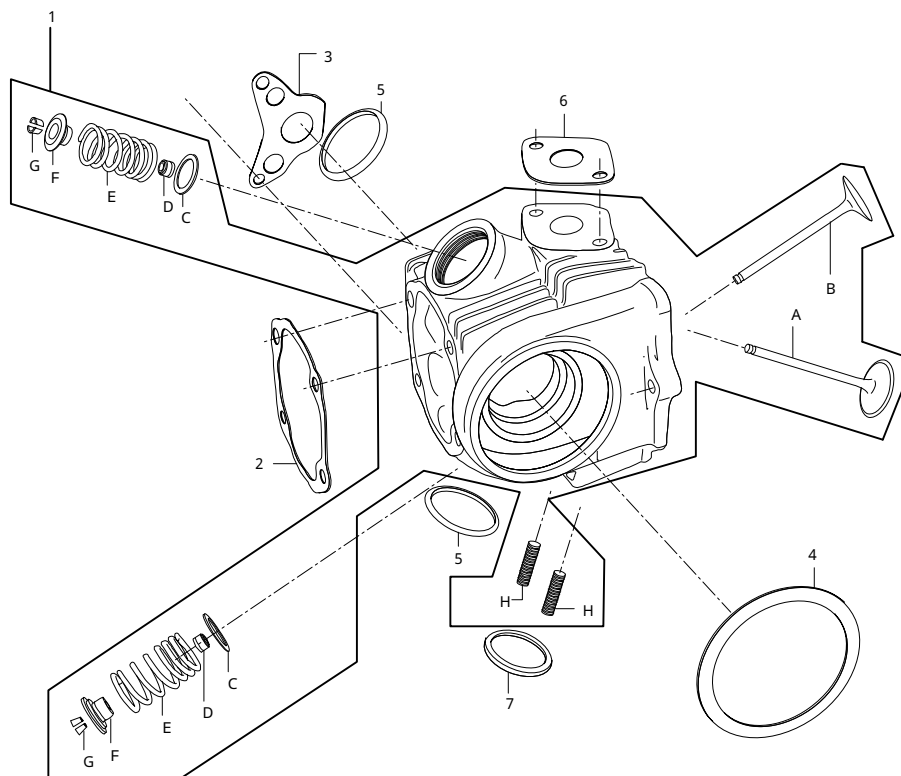
カムシャフト比較データ表

注) ダイノジェットによる測定データですので、実走とは異なります。参考データとして検討下さい。エンジン出力は気温に大きく左右されます。

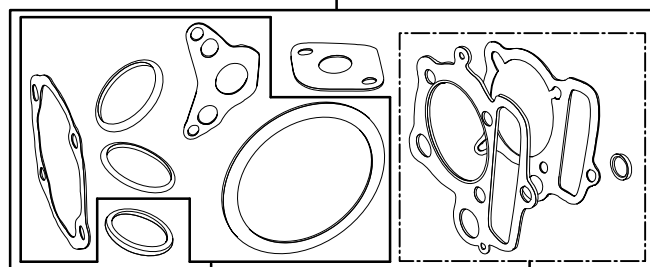
- Rステージ-Eボアアップキット88ccに各カムシャフトを取付けた場合
 - ・Rステージボアアップキット88cc
 - ・MIKUNI VM26ビッグボアキャブレターキット
 - ・ハイパーストリートマフラー



～ 商 品 内 容 ～



01-13-0608 (88cc/Vシリンダー/Hシリンダー)
 01-13-0605 (88cc/旧タイプシリンダー)
 01-13-0607 (106cc/スカットシリンダー)



01-13-7002 01-13-7003V (88cc Vシリンダー/Hシリンダー)
 01-13-8003 (88cc/旧タイプシリンダー)
 01-13-0606 (106cc/スカットシリンダー)

注：シリンダーの種類によりガスケットキットは異なります。ガスケットキット購入時は、間違わない様注意して下さい。

番号	名称	数量	リペア品番	入数
1	シリンダーヘッドCOMP.	1	06120-RSE-T01	1
2	シリンダーヘッドカバーガスケット	1	12391-165-T01	1
3	R.シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	1	12394-181-T01	1
4	L.シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	1	12395-165-T01	1
5	Oリング	2	00-01-0034	2
6	マニホールドガスケット	1	00-03-0009	3
7	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064	2

記号	部品名	数量	リペア品番	入数
A	インテイクバルブ	1	14711-GFL-T01-F	1
B	エキゾーストバルブ	1	14721-GFL-T01-F	1
C	バルブスプリングアウターシート	2	00-01-0002	2
D	バルブステムシール	2	00-01-0015	2
E	バルブスプリング	2	00-01-0283	2
F	バルブスプリングリテーナー	2	00-01-0078	2
G	バルブコッタ	4	00-01-0018	4
H	スタットボルト 6×32	2	00-01-0085	2

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

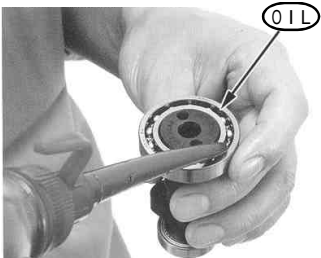
株式会社 **SPECIAL PARTS** 式川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

～シリンダーヘッド取り付け要領～

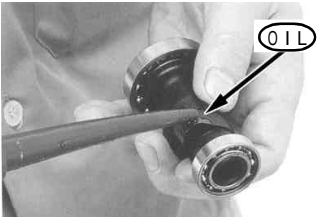
- オリジナルのシリンダーヘッドのロッカーアームシャフトとロッカーアームを取り外し、ロッカーアームのアジャストボルトを一旦緩めます。



- 専用のカムシャフトの両端のベアリングにエンジンオイルを塗布します。



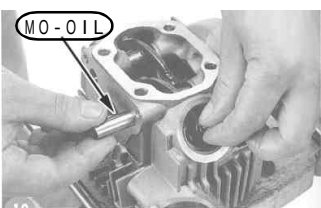
- カム山にモリブデン溶液を塗布します。



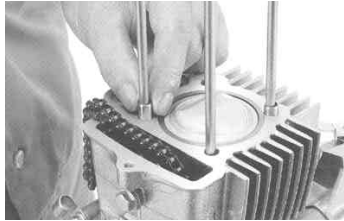
- キットのシリンダーヘッドにカムシャフトをセットします。



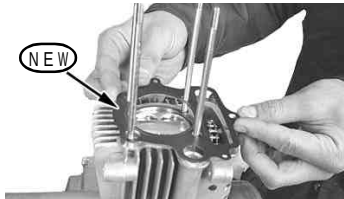
- オートデコンプカムシャフトをご使用の場合
- ・オートデコンプカムシャフトの取り付け要領に従い作業を行います。
- N1スポーツカムシャフト取り付けの場合
- ・オリジナルのロッカーアームシャフトにモリブデン溶液を塗布し、ロッカーアームシャフトのネジ部を外側に向け、ロッカーアーム、ロッカーアームシャフトを取り付けます。



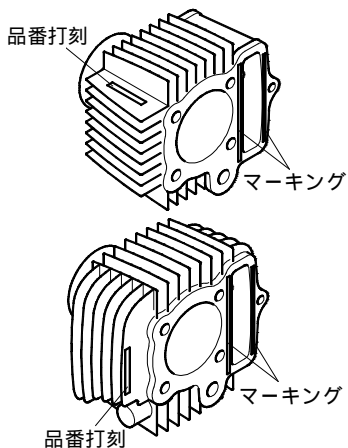
- シリンダーに8×14のノックピンをノックピン穴にセットします。



- シリンダー上面をよく脱脂します。
- Vシリンダー、Hシリンダー、Sシリンダー（スカット）はシリンダーヘッドガスケットを取り付けます。

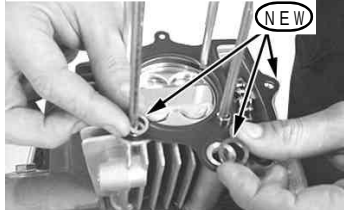


注) 上記のシリンダーは上面にマーキング、またはフィン部に品番が打刻されています。



- 品番やマーキングが無いシリンダー、シリンダーキット内にラバーガスケット（緑）が付属しているシリンダーにはシリンダーヘッドガスケット、ラバーパッキン（黒）、ラバーガスケット（緑）を取り付けます。

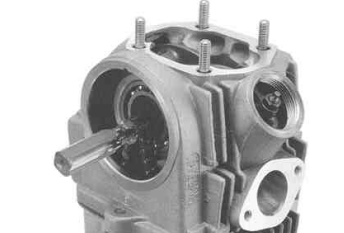
旧型シリンダーキット時のみ



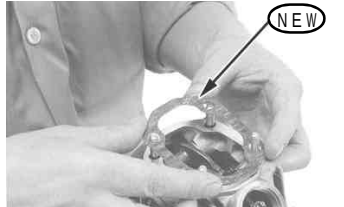
- ピストンを上死点に合わせて、シリンダーヘッドを取り付けます。



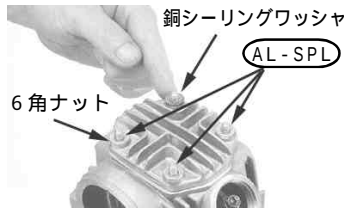
- カムチェーンがクランクケース内に落ちない様に固定しておきます。



- シリンダーヘッドにシリンダーヘッドカバーガスケットをセットします。



- シリンダーヘッドカバーのマークをEXにセットし、スタットボルトネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布し、シーリングワッシャとナットを取り付けます。（エンジンを前から見て左下に、銅ワッシャ、残りがスチールワッシャ、右下に6角ナット、残りがふくろナットを各位置に取り付ける。）



- スタットボルトのナットを対角に2～3回に分けて規定トルクまで締め付けます。

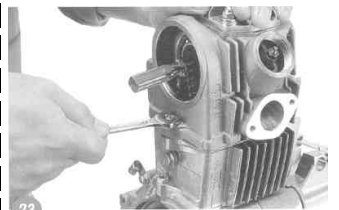
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$
 (1.2 kgf · m)



- シリンダー部のサイドボルト及びシリンダーヘッド部のサイドボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

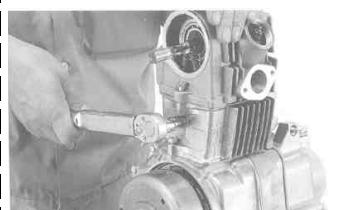
$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$
 (1.2 kgf · m)



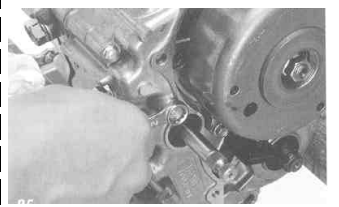
- カムチェーンガイドローラーのボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

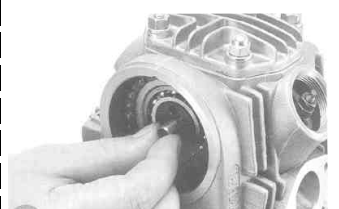
$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 (1.0 kgf · m)



- カムチェーンテンショナー部のサイドボルトを取り外します。



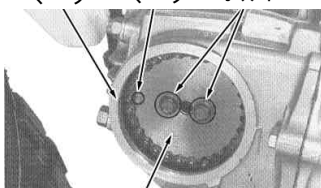
- カムシャフトのセンターに8×12のノックピンを取り付けます。



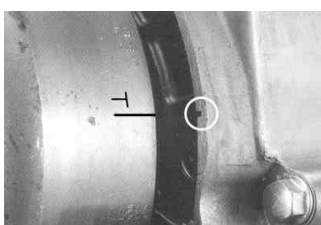
- カムチェーンをカムスプロケットに取り付け、カムスプロケットボルト（黒色）2本を用いて取り付けます。

（この時、ボルトネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布します。）
この時、フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせた時、カムスプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの合わせマークと合わせます。

合わせ “O”
マーク マーク ボルト



カムスプロケット



- クランクシャフトを固定し、カムスプロケットを固定しているキャップスクリューを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



- キット内の右サイドカバーガスケットを右サイドカバーにセットし、シリンダーヘッドにフランジボルト2本を用いて取り付け、規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



- アジャストスクリューでバルブクリアランスを調整します。

$$\text{IN} : 0.08 \text{ (冷間時)} \pm 0.03 \\ \text{EX} : 0.08 \text{ (冷間時)} \pm 0.03$$



- アジャストナットを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



- 左シリンダーヘッドカバーにキット内の新品ガスケットを取り付け、シリンダーヘッド出っ張り部と左シリンダーヘッドカバーの合わせ位置を合わせて取り付け、右シリンダーヘッドカバー部からオリジナルのシーリングワッシャ、フランジボルトを用いて取り付けます。



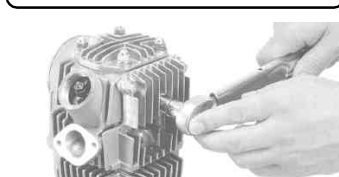
出っ張り部



- 取り付けしたフランジボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



- オリジナルのタペットキャップにキット内の新品のOリングを取り付け、Oリング部に少量のエンジンオイルを塗布し取り付け、規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

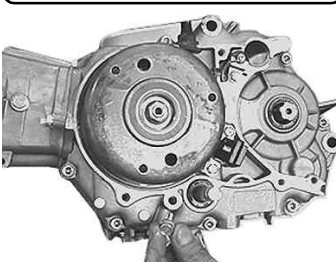
$$T = 8 \sim 10 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (0.8 \sim 1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



- カムチェーンテンショナー部のサイドボルト穴からエンジンオイルを注入し、サイドボルトを締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 8 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (0.8 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



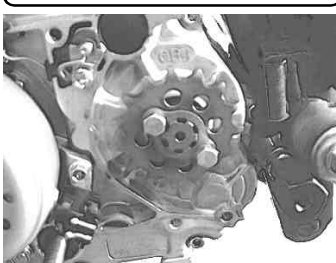
- サービスマニュアルを参照し、エンジンをフレームに取り付けます。

△注意：必ずマニュアルの指示を守る事。

- 使用するキャブレターキットの取説に従いキャブレターを取り付けます。
- ドライブスプロケットを取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



- ジェネレーターカバーを取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 7 \sim 11 \text{ N} \cdot \text{m} \\ (0.7 \sim 1.1 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



- エンジンオイルを使用するクラッチキットの指示している量まで入れます。
- サービスマニュアルを参照し、ドライブチェーンを取り付けます。

エンジン始動

- イグニッションキー、ガスコックがOFFになっていることを確認します。
- しばらくキックをし、エンジン各部にエンジンオイルを行きわたらせます。
- スパークプラグを取り付けます。プラグのネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布し、締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

- プラグキャップをスパークプラグに取り付けます。
- エンジンに付着した汚れをよく拭き取ります。
- ガソリンコック、イグニッションキーをONにし、エンジンを始動させます。

△警告：必ず換気のよい場所で行う事。

- 異音など異常が無いかを確認します。
- 異常が無ければ30kmから50km程度慣らし運転をし、再度バルブクリアランスを点検します。

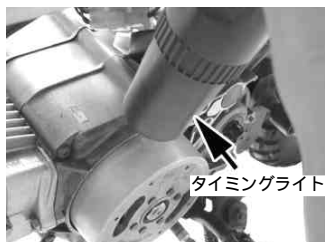
△注意：必ず冷間時に行う事。

- 100kmから150km位まで再度慣らし運転を行います。
- 慣らし運転終了後、異音やブローパイガスなど異常が無いかを確認します。
（異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。）

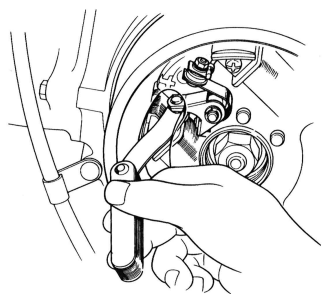
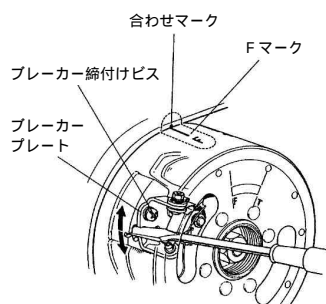
△警告：再使用出来ないパーツは再使用しない事。

6 V 車両の場合

- 点火タイミングがずれていると、本来の性能を発揮しない上に、重大な故障にもつながる恐れがあります。点火タイミングの点検と調整を行うことをお勧めします。ご自分で出来ない場合は、バイクショップ等で点検することをお勧めします。



- タイミングライト (00 - 01 - 009) を用いて、アイドリング時にフライホイールの 'F' マークとクランクケースの合わせマークとが合っているか確認する。



- 調整はブレーカー締付けビスを緩め、ブレーカープレートを少しずつ動かして行う。
- 調整を行った後に、クランクシャフトを回してポイントの隙間が一番開く位置に合わせ、シクネスゲージでその隙間を測定する。
ポイント隙間 0.3 ~ 0.4 mm
範囲外の場合はポイントの交換をする。

インスペクション／マニュアル

⚠ 警告

このシリンダーヘッドマニュアルは基本的な技能や知識を持った人を対象としておりますので、技術、知識の無い方は作業を行わないで下さい。

- 部品及びシリンダーヘッドは、分解後、点検、測定の前に洗浄した後、圧縮空気で吹き、良く乾かす。
- カムシャフトを潤滑するエンジンオイルは、シリンダーヘッドのオイル通路を通して供給される、シリンダーヘッド組立前にオイル通路を清掃しておく。
- 部品は、分解後取り外した場所がわかる様マーキングしておき、必ず元の位置に取り付けること。

シリンダーヘッド整備諸元表

項目	標準	使用限度	備考
バルブクリアランス I N	0.08 ± 0.03 mm (冷間時)	—	
E X	0.08 ± 0.03 mm (冷間時)	—	
シリンダーヘッド歪み	—	0.05 mm	交換
バルブロッカーアームの内径	10.000 ~ 10.015 mm	10.05 mm	交換
ロッカーアームシャフト外径 I N / E X	9.978 ~ 9.987 mm	9.92 mm	交換
ロッカーアームとシャフトの隙間	0.013 ~ 0.037 mm	0.10 mm	交換
バルブガイド内径 I N / E X	—	4.56 mm	ガイド交換又はヘッド交換
バルブステム外形 I N	—	4.47 mm	交換
E X	—	4.45 mm	交換
バルブステムとガイドの隙間 I N	—	0.09 mm	ガイド交換又はヘッド交換
E X	—	0.12 mm	ガイド交換又はヘッド交換
バルブシート当たり幅 I N	—	1.5 mm	修正又はヘッド交換
E X	—	1.7 mm	修正又はヘッド交換
バルブスプリング自由長 アウター	—	30.5 mm	交換

- 専用工具: バルブスプリングコンプレッサー S E T 品番 00 - 01 - 1005
- トルクの単位記述
1 kg f · m = 9.80665 N · m (ニュートンメートル)
- モリブデン溶液 → マーク (MO-OIL)
モリブデングリースとエンジンオイル 1 : 1 の割合で混合して作る。
モリブデン溶液塗布指示部には、モリブデン溶液、又は、アッセンブリペーストを塗布すること。
- オーバーホール毎交換品 → マーク (NEW)
分解毎に新品と交換する必要がある部品を示すので、必ず交換すること。
- アルミスPECIAL (耐熱潤滑ペースト) → マーク (AL-SPL)
- ・ アルミスPECIAL = 耐熱潤滑ペースト、高温、重荷重のカジリ、溶着を防止するグリース。(用途、スパークプラグ、エキゾーストマニホールド等高温部に効果的)
指示無き部分には塗布しないこと。

インスペクション / マニュアル

● バルブの分解

- ・バルブスプリングコンプレッサーを使用して、バルブスプリングを圧縮する。

△ 注意：必要以上バルブスプリングを圧縮しないこと。

専用工具: バルブスプリングコンプレッサー S E T
品番 0 0 - 0 1 - 1 0 0 5



- ・バルブコッタを外す。
コッタが外れにくい時は、磁石を使用して外す。
- ・バルブスプリングコンプレッサーを外し、以下の部品を外す。
 - ・バルブスプリングリテーナー
 - ・バルブスプリング
 - ・バルブ

各バルブの曲がり、焼き付き、損傷を点検する。

- ・バルブステムの外径のガイド摺動面をマイクロメーターで測定する。

使用限度 I N : 4 4 7 mm E X : 4 4 5 mm
曲がり、キズ、損傷のある物は交換する。



バルブスプリングリテーナーの点検

- ・バルブスプリングリテーナーのバルブスプリング当たり面及びコッター当たり面を確認する。
- ・損傷のある場合、交換する。

スプリングの当たり面を確認する

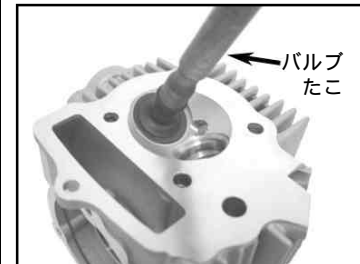


バルブシートの点検

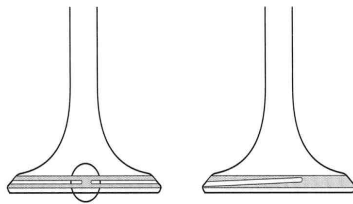
- ・シリンダーヘッド燃焼室及びバルブのカーボン堆積物を取り除く。
- ・バルブフェースに光明丹をオイル等で溶かし、均一に薄く塗布する。



- ・バルブたこを使用して、バルブを軽く 1 回打ち、回転させる。
- ・バルブフェースに付着した光明丹を拭き取り、バルブたこを使用してバルブを回さずに軽く 1 回打ち、当たり面を確認する。

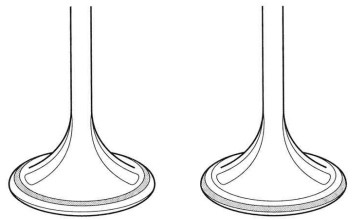


インスペクション／マニュアル



シートの傷

バルブの倒れ



当たりが低い

当たりが高い



使用限度 I N : 1.5 mm以上修正

E X : 1.7 mm以上修正

- ・バルブシートに傷がある場合は、シートを修正する。
- ・当たり幅が広い、狭い、高い、又は低い場合は、シートを修正する。
- ・修正は、内然機関専門店又は、弊社まで依頼する。

ロッカーアームの点検

- ・ロッカーアームの傷、損傷、詰まりを点検する。
- ・ロッカーアームの内径を測定する。



使用限度 : 1.05 mm以上交換

ロッカーアームシャフトの点検

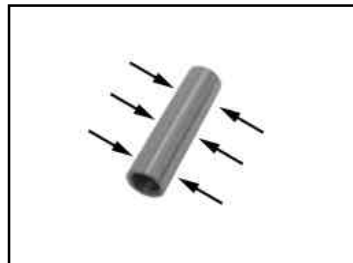
- ・ロッカーアームシャフトの曲がり、傷、損傷を点検する。

- ・ロッカーアームシャフトの外径を測定する。

使用限度 : 9.92 以下交換

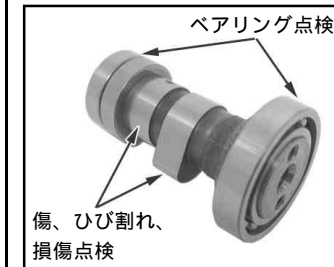
- ・ロッカーアームとロッカーアームシャフトの隙間を計算する。

0.10 以上交換



カムシャフトを点検

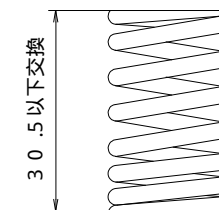
- ・カムシャフトの傷、ひび割れ、損傷を点検する。
- ・各カム山を点検する。
- ・カムシャフトのベアリングを点検する。
ベアリングのアウトレースを指で回し、滑らかに回らない、アウトレースにガタがある場合、カムシャフトを交換する。



バルブスプリングの点検

- ・バルブスプリングの傷、損傷を点検する。
- ・バルブスプリングの自由長を測定する。

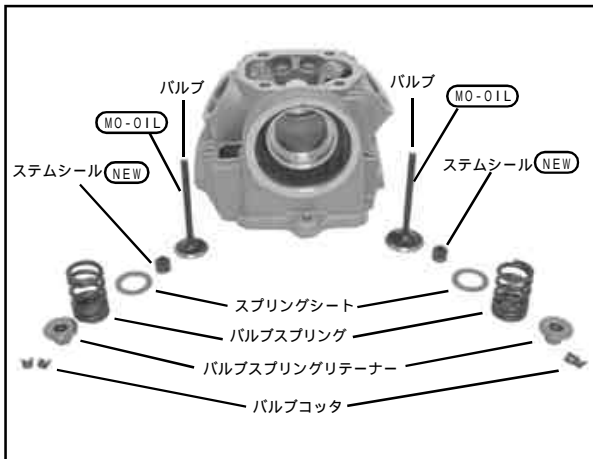
アウト : 3.05 以下交換



インスペクション / マニュアル

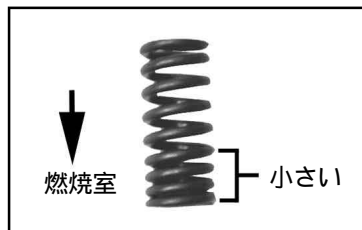
● バルブの組立

- ・シリンダーヘッドを洗浄する。
- ・バルブスプリングシート、新品のバルブステムシールを取り付ける。
- ・バルブステム摺動面にモリブデン溶液を塗布し、ステムシールが損傷しない様ゆっくり回しながらバルブをバルブガイドに差し込む。



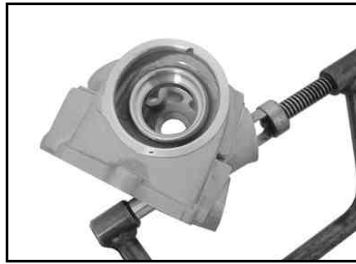
- ・バルブスプリングのピッチの小さい方を燃焼室側に向けて、バルブスプリングを取り付ける。

⚠ 注意: 必ずピッチの小さい方を燃焼室側に向けること。



- ・バルブスプリングコンプレッサーを使用してバルブスプリングを圧縮し、バルブコッタに少量のグリスを塗布しバルブコッタを取り付ける。

⚠ 注意: 必要以上バルブスプリングを圧縮しないこと。



- ・バルブステム先端を軽く2～3回たたき、バルブとコッタのなじみを良くする。

⚠ 注意: バルブを損傷しない様、注意すること。

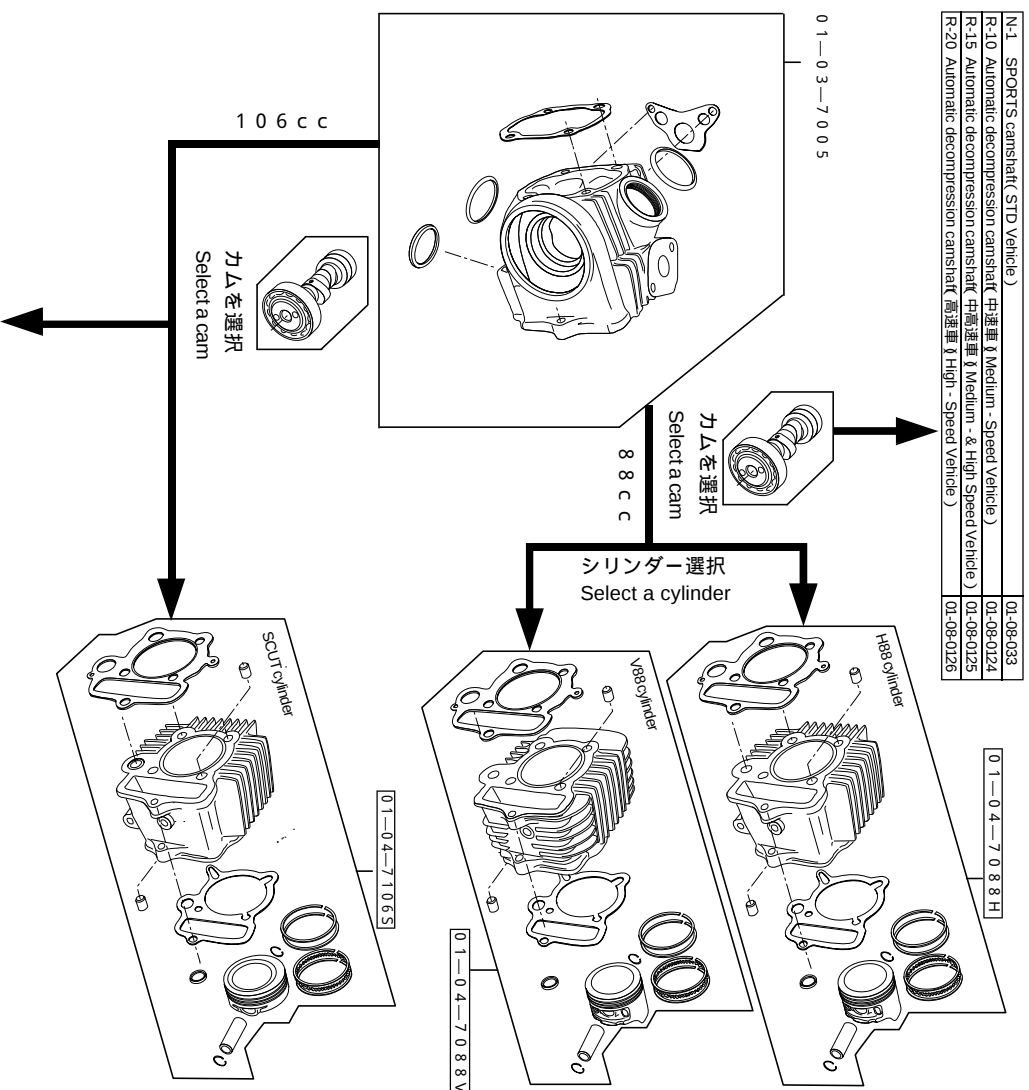


R-Stage-Entry model

ボアアップ参照表 (8 8 c c 、 1 0 6 c c)
Reference data on bore-up kit (88cc,106cc)

対応 (Applicable model names and the frame Nos)

Monkey	: Z50J-1600008 ~ 2499999
	AB27-1000001 ~
Gorilla	: Z50J-1606093 ~ 2699999
	AB27-1000001 ~
Monkey BAJA	: Z50J-1700001 ~
Monkey R / RT	: AB22-1000017 ~
Dax50	: AB26-1000001 ~
Magna50	: AC13-1000010 ~
XR50R	: AE03-1000001 ~
CRF50F	: AE03-1400001 ~



N-1 SPORTS camshaft (STD Vehicle)	01-08-033
R-10 Automatic decompression camshaft (中速車 & Medium - Speed Vehicle)	01-08-0124
R-15 Automatic decompression camshaft (中高速車 & Medium - & High Speed Vehicle)	01-08-0125
R-20 Automatic decompression camshaft (高速車 & High - Speed Vehicle)	01-08-0126

0 1 - 0 3 - 7 0 0 5 シリンダーヘッドキットのみで購入された場合、この参照表にて専用パーツを検討して下さい。

If you have purchased a cylinder head kit only (Item No. 01-03-7005), please study to install these special parts referring to this reference data.